

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	11	課題区分	C	令和5年4月27日	
横断的な課題	農商工観連携した果物を軸とする地域活性化「ながの果物語り」の推進						
地域重点政策	果物を軸とした地域の魅力発信と果物の消費拡大					長野地域振興局	
実施機関	長野保健福祉事務所			担当課	所属	健康づくり支援課	
事業名	ながの果物語り「EAT健康に食べる」推進事業				電話	026-225-9045	
				E-mail	nagaho-kenko@pref.nagano.lg.jp		
事業の概要等	目的 (目指す姿)	現役世代の健康づくりを推進するため、働き盛り世代における果物の適量摂取を図る。					
	現状と課題	<p>「令和元年度県民健康・栄養調査」によると、野菜摂取量目標量1日350gのところの現状平均値は、男性300g、女性293gであり約7割の人が目標量未満である。また、果物の摂取目安量1日200gのところ、20～40歳代では習慣的摂取量は男性42g、女性74gと特に摂取量が少なく目標の半分以下であることから、長野地域でもこの年代に向けて野菜・果物摂取に関する理解を促進する必要がある。また、特に長野地域では多品種・高品質な果物が豊富な地域であるため果物摂取の定着を若者から働き盛り世代に向けて働きかけていくことが大切である。</p> <p>令和3年度までは若者向けにリーフレットやSNSでの情報発信、健康づくりフォーラム等を通じて啓発を行い反響を得たため、その取組み・ノウハウを活かして、令和4年度からは働き盛り世代まで対象を広げて取組みを行っていく。</p> <p>世代ごとに課題が違わなかで、主食・主菜・副菜を揃えたバランスのよい食事に加え、果物の適量摂取に向けた啓発が必要である。</p>					
	内容 (変更後の内容)	<p>①学べる卓上メモづくり 市町村や関係機関、企業等と連携し、食生活に必要な情報と知識を学べ、果物と野菜の適量摂取を促進する卓上メモを作成し社員食堂等に設置する。</p> <p>②分かりやすい情報発信 食生活スキルを高められ、健康に意識が向く情報をInstagramやSNSを活用し、分かりやすく発信する。 ※Instagram「tabetellnagano【タベテルナガノ】」: @tabetell_nagao</p> <p>③実践のための健康づくりフォーラムの開催 果物・野菜の適正摂取推進のための健康づくりフォーラムを開催し、食事などへの健康づくりの意識を醸成し、実践へつなげる。 開催時期: 令和5年3月14日(火) 実施内容: 講演「青果物の栄養・機能性成分を活かした利用」 講師: 信州大学 農学部農学生命科学科 教授 瀧岡 康範氏 活動事例発表「信州の食でつながる 人づくり・地域づくり」 座長: (公社)長野県栄養士会 常任理事 吉川 さなえ氏 ・事例発表1「長野保健福祉事務所の健康づくり推進事業と連携して」 発表者: 長野県立大学 健康発達学部食健康学科3年 ・事例発表2「ながの果物語り～長野県産果物について～」 発表者: 長野農業農村支援センター ・事例発表3「地域での食育の普及活動」 表者: 須坂市食育団体 食の匠</p>					
事業期間	R4.4		～	R5.3		(単位:円)	
事業費等	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考			
	①卓上メモの制作	果物と野菜の適量摂取を促進する卓上メモを作成する。	126,820	需用費(卓上メモ制作): 116,820円、役務費(郵送)10,000円			
	②情報発信	SNSを利用し、働き盛り世代に向けて果物の良さや美味しさ、健康情報を発信する。	14,827	需用費(撮影用物品): 4,827円、使用料(チラシコピー): 10,000円			
	③健康づくりフォーラムの開催	健康づくりフォーラムの開催	69,111	報償費(講師謝金)49,111円、需用費(消耗品): 0円、役務費(郵送料): 10,000円、使用料(開催通知、チラシ印刷): 10,000円			
	合計		210,758				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	①卓上メモ等への問合せ件数		5件以上	3件	○ 達成		
	②SNSへのページ訪問者数		3千人以上	5600人	● 一部達成		
	③健康づくりフォーラムへの参加者数		50人以上	72人	○ 未達成		

事業実績・成果	<p>①卓上メモの作成 ・働き盛り世代向けに、長野県立大学健康発達学部食健康学科の学生と連携し、働き盛り世代が利用する社員食堂や飲食店の卓上に設置するPOPの作成をした。作成が年度末になったため、問い合わせ件数は達成しなかったが次年度へ継続し配布をする。</p> <p>②SNSへの情報発信 ・長野地域公式Instagram「tabetell nagano【タベテルナガノ】」の更新を月1回以上の計30回を投稿した。果物や野菜を使ったおすすめレシピ等を発信しフォロワーと訪問者数ともに前年度より30%増やすことが出来た。</p> <p>③健康づくり・食育フォーラムの開催 ・令和5年3月14日にオンラインで開催し、果物の適正摂取・健康づくり実践活動や「青果物の栄養・機能性成分を活かした利用」の講演を行った。食育関係機関や一般住民に果物や野菜の知識を深め普及啓発を図ることができた。</p>
今後の方向性	<p>これまで、若い世代と働き盛り世代向けに事業を展開してきた。これらの取組を検証・評価し、日頃の事業や業務に活用する。また、新たな地域の特性に応じた課題への取組にいかす。</p>